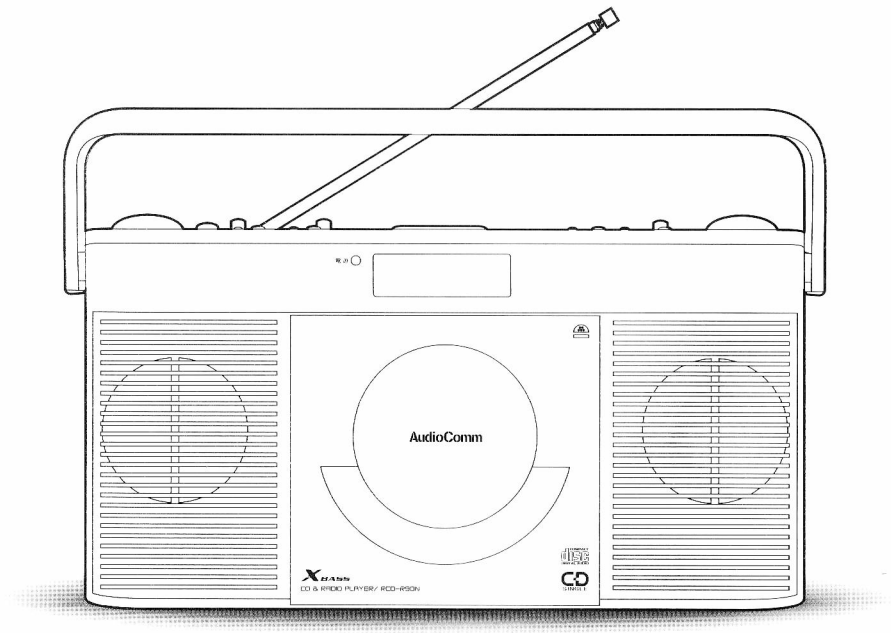
AudioComm®

取扱説明書
保証書付

ポータブルCDラジオ
型番：RCD-R90N-W　RCD-R90N-H
RCD-R90N-A　RCD-R90N-P



このたびは、ポータブルCDラジオをお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
“この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にご使用ください。”
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られるよう大切に保存してください。

もくじ

安全上のご注意…… 2
ご使用になる前に …… 5
電源について…… 5
各部の名称 …… 7
時計の設定方法 …… 9
ラジオを聴く …… 10
CD を聴く …… 11
ランダム再生 …… 12
リピート再生 …… 12
イントロ再生 …… 12
プログラム再生 …… 13
タイマー（目覚まし）機能を使う …… 14
スリープ機能を使う …… 15
外部機器を接続する（AUX）…… 16
X-BASS 機能 …… 16
ヘッドホンで聴く …… 16
故障かなと思ったら …… 17
主な仕様…… 18
お手入れ方法…… 18
保証とアフターサービスについて …… 18
保証書

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって３段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合は感電注意が描かれています。）

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
（左図の場合は分解禁止が描かれています。）

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。）

※この製品の故障、誤動作、不具合などによって発生した次にあげる損害などの附随的損害補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ●お客様または第三者がCDまたは外部接続機器へ記録された内容の損害
- ●再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

⚠警告

異常の時はコンセントから抜く	●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	水かけ禁止	●浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しないでください。 火災や感電の危険があります。
分解禁止	●本体を修理、改造しないでください。 火災・感電の原因となります。	接触禁止 感電に注意	●雷が鳴り始めたら、安全のため電源プラグを抜いてください。
水が入った場合はコンセントから抜く	●万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。	異物が入った場合はコンセントから抜く	●万一、機器の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
		禁止	●表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 警告（前ページから続く）

禁止	●付属の電源コード（ACコード）は本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属の電源コード（ACコード）をお使いください。また、付属の電源コード（ACコード）は絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。	禁止	●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。 コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず重いものをのせてしまうことがあります。
コードを交換する	●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止し、修理をご依頼ください。 そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。	禁止	●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。
		禁止	●この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車・船舶などの直流 DC 電源には接続しないでください。火災の原因となります。

⚠ 注意

禁止	●調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	禁止	●CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。
禁止	●ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	禁止	●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 ●電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	●電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。		
禁止	●窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	コンセントから抜く	●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部機器などのコードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。 コンセントから抜く時は必ずプラグ部分を持って抜いてください。
禁止	●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。		
乾電池の電極性に注意	●電池を挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナスーの向き）に注意し、表示通り正しく入れてください。 間違えますと電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	アンテナに注意	●移動させる場合は、アンテナをたたんでください。伸ばしたまま持ち運ぶと引っ掛かったりして断線、またはけがの原因になることがあります。
		指を挟まれないように注意	●お子様がカセットテープ挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

禁止	●指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	音量に注意	●ご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。 近隣の迷惑になるとともに、耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
禁止	●電磁波を発生させる機器（携帯電話、テレビ、モニター等）に近づけないでください。電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。	コンセントから抜く	●旅行などで長時間本機をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜き、リモコンの乾電池も取り外してください。火災・液もれの原因となることがあります。
コンセントから抜く	●お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。		

乾電池を安全にお使いいただくために

乾電池の液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない ・新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池（マンガンとアルカリ）を混ぜて使わない	⚠ 注意	・＋－の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わない時は乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入った時は、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの電池を廃棄するとき、自治体の条例などで決まりがある場合にはそれに従って廃棄してください。

ご使用になる前に

CDについて

●ディスクに右のマークが入ったものをご使用ください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO　CD SINGLE

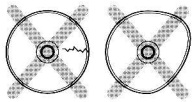
●本機は通常の音楽CDのほか、CD-R、CD-RWディスクの再生に対応しています。

ご注意

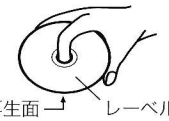
●CD-R/RW ディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類、状態によっては、再生できなかったり、ノイズ、音飛びが生じる場合があります。
●ファイナライズ処理のなされていないディスクは再生できません。
●本機では MP3 や WMA など、圧縮されたフォーマットの音楽ディスクの再生はできません。
●DualDisc（デュアルディスク）については、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、動作・音質を保証できません。
●現在発売されている「コピーコントロール CD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク（CD）規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたりましては、動作や音質の保証は致しかねます。音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。なお、「コピーコントロール CD」の詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

CD取扱上のご注意

●ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。

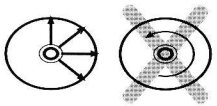


●再生面を触れないように持ってください。

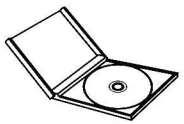


●再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

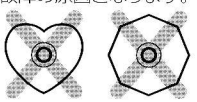
●ディスクに指紋や汚れがついた時は、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。



●長い時間使用しない時は、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



●ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となります。



結露について

寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態でご使用になると、正しく動作しないことがあります。このような時はディスクを取り出して、数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

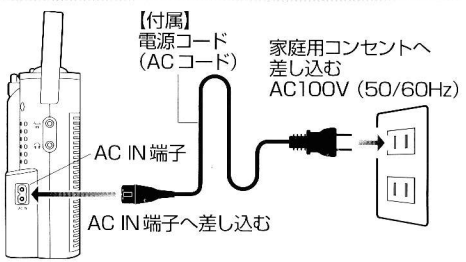
電源について

⚠ 電源コードを抜き差ししたり、電池を出し入れする時は、電源／タイマースイッチを「切」側にして電源が切れた状態で行ってください。

⚠ 電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

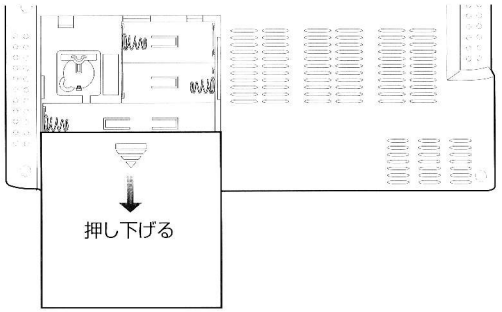
家庭用コンセントで使うには

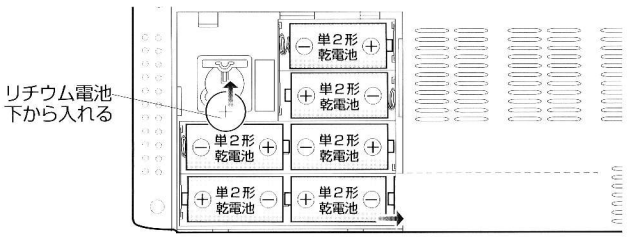
付属の電源コードを本機左側面にある AC IN 端子へ接続した後、家庭用コンセントへプラグを差し込んでください。
※大切な録音をする時は、付属の電源コードのご使用をお薦めします。
※付属の電源コード（AC コード）は本製品専用です。本製品を家庭用コンセントでご使用の際には必ず付属の電源コード（AC コード）をお使いください。また、付属の電源コード（AC コード）は絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。



乾電池（別売）で使うには

1. 本機裏側の電池ぶたを開けてください。
2. 単２形乾電池（別売）を８本、＋－の向きに注意しながら正しく入れます（下図参照）。
3. 付属のリチウム電池（バックアップ用）を「＋」と刻印されているほうが手前になるように、スライドさせながら正しく入れます。
4. 電池を入れ終えたら、電池ぶたを元通りにパチンと音がするまで閉めてください。





一番下の乾電池は右奥から順に入れる

ご注意　種類の異なる電池や、新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。液もれの原因になり、本機が故障する場合があります。

※乾電池で使う時は、電源コードが本機左側面の AC IN 端子から抜かれていることをお確かめください。接続されたままですと乾電池では使用できません。
※乾電池交換の目安として、乾電池が消耗すると、雑音が多くなったりします。このような状態になったら、乾電池を新しいものと交換してください。

●電池についての安全上のご注意

⚠ 警告

●乾電池が液もれした時は液が本機内部に残ることがあるため、弊社修理係にご相談ください。液が目に入った時は、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●＋と－を正しく入れる。
●充電しない。
●火の中に入れない。
●ショートさせたり、分解、加熱しない。
●火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
●水などで濡らさない。風呂場などの多湿な場所で使わない。

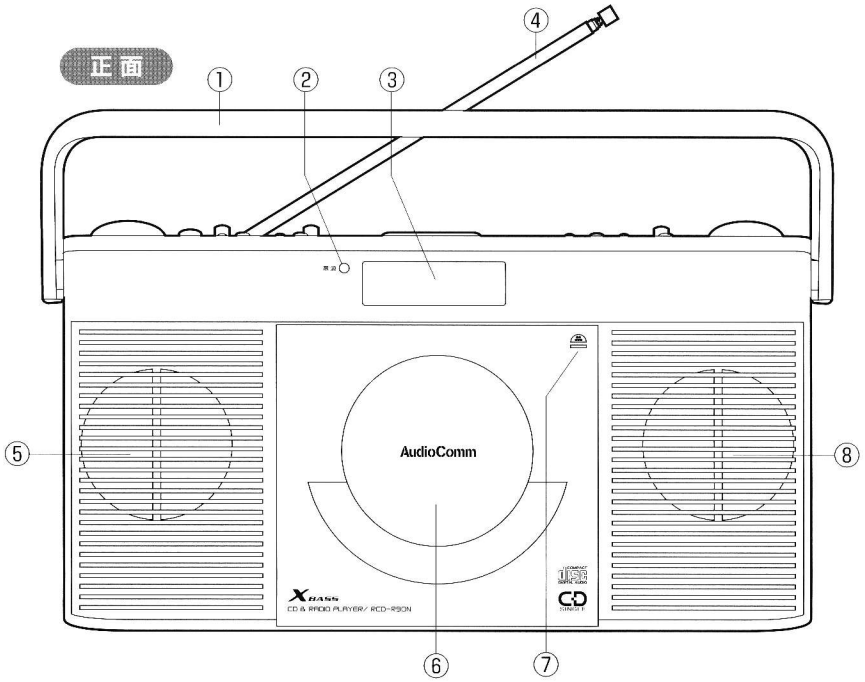
⚠ 注意

●使い切った電池は取り外す。長時間使用しない時や、長時間 AC 電源で使用する時も取り外す。
●新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

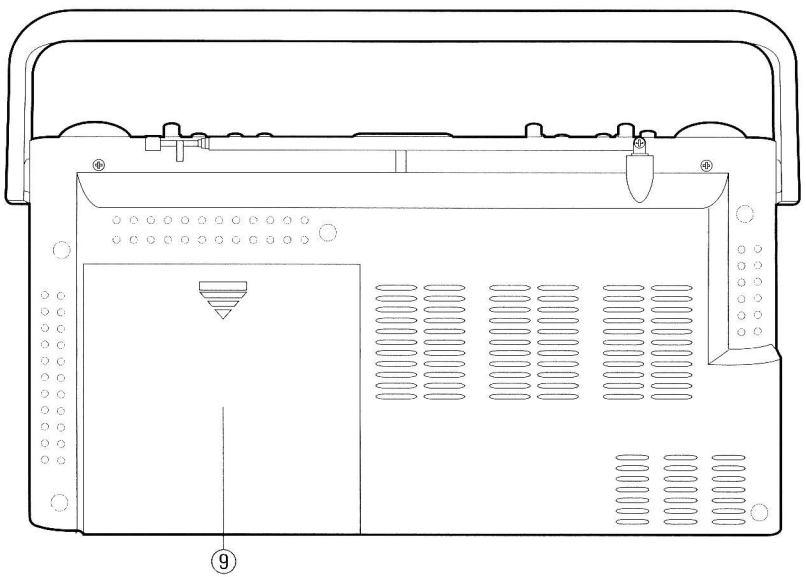
使用済み電池を廃棄する時…
使用済み電池に関して、自治体の条例などで決まりがある場合は、それに従って廃棄してください。

各部の名称

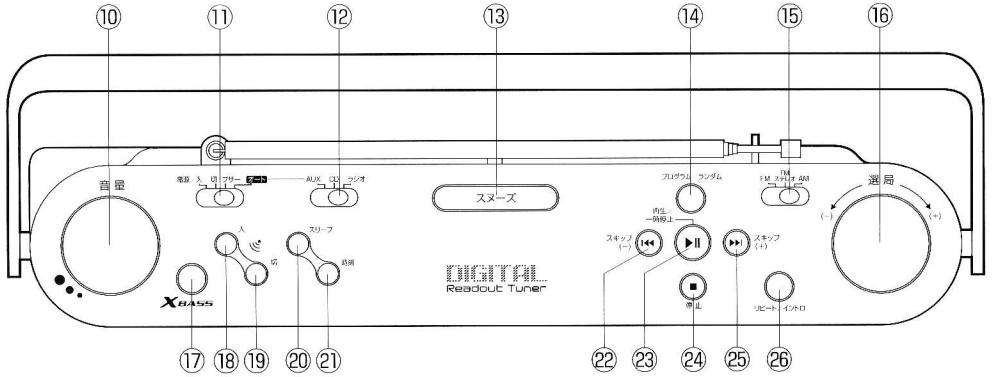
正面



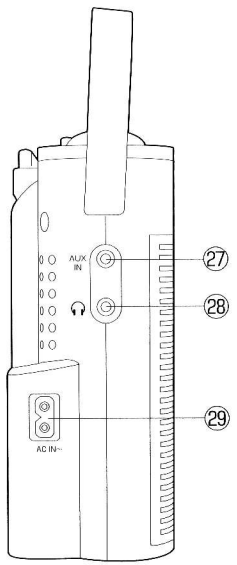
背面



上面



右側面



①ハンドル
②電源ランプ
③ディスプレイ
④FMアンテナ
⑤左スピーカー
⑥CD扉
⑦CD扉開閉ボタン
⑧右スピーカー
⑨電池ぶた
⑩音量ツマミ
⑪電源／タイマースイッチ
⑫モード切換スイッチ
⑬スヌーズボタン
⑭プログラム／ランダムボタン
⑮バンド切換スイッチ
⑯選局ツマミ
⑰X-BASSボタン
⑱ブザー／タイマー（入）ボタン
⑲ブザー／タイマー（切）ボタン
⑳スリープボタン
㉑時刻ボタン
㉒スキップ（ー）ボタン
㉓再生／一時停止ボタン
㉔停止ボタン
㉕スキップ（＋）ボタン
㉖リピート／イントロボタン
㉗AUX IN（外部入力）端子
㉘ヘッドホン端子
㉙AC IN端子

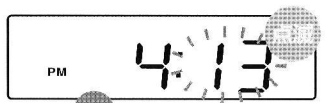
時計の設定方法

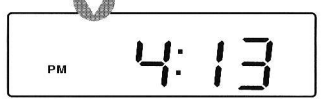
1 時刻ボタンを長く押す

電源／入の状態で操作すると、「ピピッ」と音がします。

2 スキップボタン(＋／－)で時間を選び、時刻ボタンを押す

3 スキップボタン(＋／－)で分を選び、時刻ボタンを押す(＝時刻設定完了)



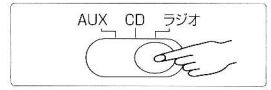


電源／入の状態で操作すると、「ピピッ」と音がします。

ヒント
- 操作ボタンを押さない時間が長くなると、設定画面が終了します。その場合は最初からやり直してください。
- バックアップ用のリチウム電池が入っている状態では、AC コードや乾電池からの電源供給がない時でも、設定した時刻が保持されます。
- 本体上面のいずれかのボタン(ただし、X-BASS ボタン以外)を押すと、約 20 秒間バックライトが点灯し、時刻表示が見やすくなります。

ラジオを聴く

1 モード切換スイッチを「ラジオ」にする

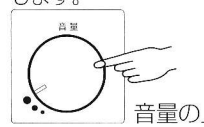


スイッチを操作するとバックライトが約20秒間点灯します。

2 電源／タイマースイッチを「電源／入」にする

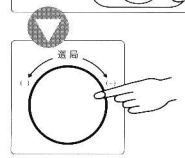
電源ランプが点灯し、一番最後に選局されていた放送局を受信します。

3 音量ツマミでボリュームを調整する



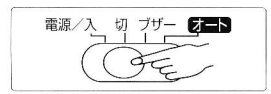
音量の上げすぎにご注意ください。

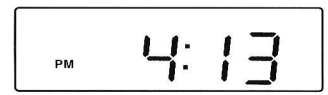
4 放送局を変更する時はバンド切換スイッチと選局ツマミで選ぶ



FM ステレオ選択時に放送を良好な状態で受信すると上のマークが点灯します。

5 ラジオを切る時は電源／タイマースイッチを「切」にする





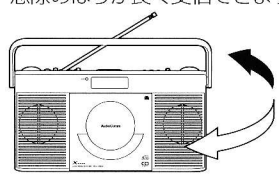
バックライト点灯と同時に時刻を表示し（電源ランプは消灯)、約20秒後にバックライトが消えます。

受信状態をよくするには

本機は周波数をデジタル表示しますが、仕様上表示される周波数と実際に受信している周波数に若干の誤差が生じる場合があります。その場合、もっとも受信感度が良い状態にてご使用ください。

●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



※テレビや蛍光灯の近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このような時は本機を離してご使用ください。

●FM放送の受信

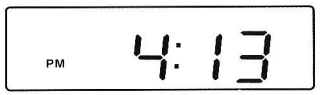
ロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節します。また、FMステレオ放送を受信する際に受信状態が良くない場合、バンド切換スイッチを「FM」（モノラル）に切換えることで改善される場合があります。

ご注意

- 持ち運び時は、目をついたり危険ですので、FMロッドアンテナを縮めた状態で持ち運んでください。
- 近隣への迷惑にならないよう、音量には十分注意してください。

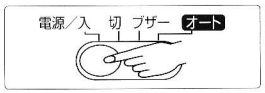
CDを聴く

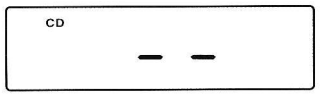
1 モード切換スイッチを「CD」にする



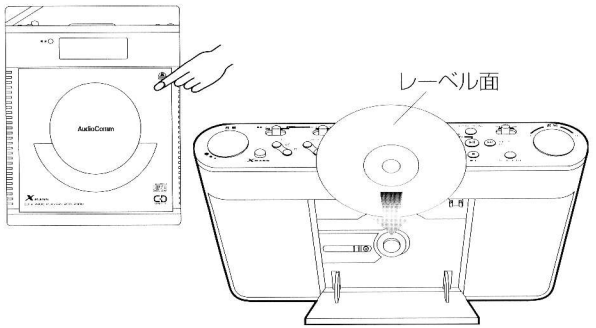
スイッチを操作するとバックライトが約20秒間点灯します。

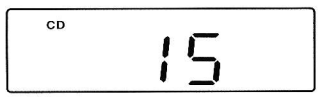
2 電源／タイマースイッチを「電源／入」にする





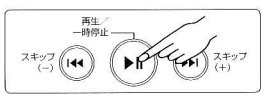
3 CD 扉開閉ボタンを押して CD 扉を開け、ディスクを正しくセットする

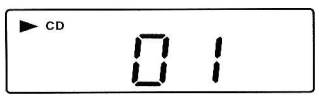




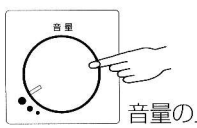
ディスクはレーベル面を手前にしてセットします。セットしたら扉を閉めてください。ディスクが回転し、収録されている曲数が表示されます。

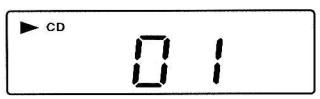
4 再生／一時停止ボタンを押す（＝再生開始）





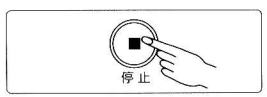
5 音量ツマミで ボリュームを調整する

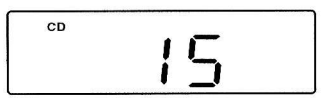




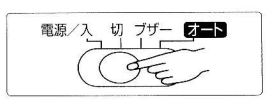
音量の上げ過ぎにご注意ください。

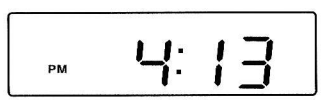
6 停止ボタンを押す（＝停止）





7 CD 再生を終了する時は 電源／タイマースイッチを「切」にする





バックライト点灯と同時に時刻を表示し（電源ランプは消灯）、約20秒後にバックライトが消えます。

■CDのボタン操作

ボタン	停止中の機能	再生中の機能
⏯ 再生／一時停止	再生を開始します。	再生を一時停止します。もう一度押すと、再生を再開します。
⏭ スキップ(+)	次の曲の先頭に移動します。	次の曲の先頭に移動して再生します。長く押すと早送りし、指を離したところから再生します。
⏮ スキップ(−)	ひとつ前の曲に移動します。	再生中の曲の先頭から再生します。2回続けて押すと、ひとつ前の曲の先頭から再生します。長く押すと早戻しし、指を離したところから再生します。
■ 停止	—	再生を停止します。

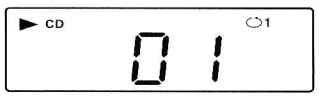
ランダム再生 CD再生中または一時停止中に操作してください。

CD 再生中にプログラム／ランダムボタンを押すと、ランダムモードになり（ディスプレイに「RANDOM」表示）、再生中の曲の次から CD 内の全曲をランダムに再生します。
もう一度押すと、「RANDOM」表示が消え、通常の再生に戻ります。

リピート再生 CD再生中または一時停止中に操作してください。

1曲リピート

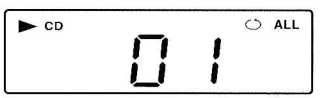
CD 再生中にリピート／イントロボタンを 1 回押すと再生中の曲を繰り返し再生します。



プログラム再生時（次ページ参照）は、1曲リピートは設定できません。全曲リピートのみとなります。

全曲リピート

CD 再生中にリピート／イントロボタンを2回押すと、全収録曲を繰り返し再生します。



※リピート再生を解除するには、ディスプレイ上のリピート表示が消えるまで、リピート／イントロボタンを1〜2回押してください。

イントロ再生 CD停止中に操作してください。

CD 停止中にリピート／イントロボタンを押すと、各曲の最初の約 10 秒を順次再生していきます。
再度リピート／イントロボタンを押すと、イントロ再生が解除され、リピート再生モードになります。

再生そのものを停止するには、停止ボタンを押します。

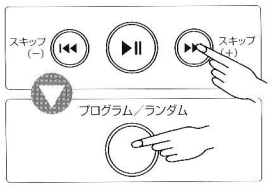
プログラム再生 CD停止中に操作してください。

曲順をあらかじめ登録して、再生することができます。『CDを聴く』ページのステップ1～3に続けて、再生停止中に以下の操作を行ってください。

1 プログラム／ランダムボタンを押す

ディスプレイに少しの間「01」（1曲目に登録する曲）と表示され、すぐに「00」に変わります。

2 スキップボタン（＋／－）で登録したい曲の番号を選び、プログラム／ランダムボタンを押す

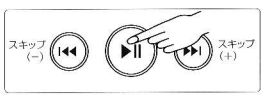


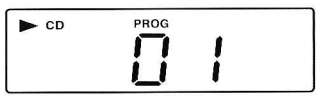
ディスプレイに少しの間「02」（2曲目に登録する曲）と表示され、すぐに「00」に変わります。

3 ステップ2の方法で順に曲を登録する

最大20曲まで登録できます。

4 再生／一時停止ボタンを押す（＝プログラム再生開始）





ヒント

登録した曲順を確認するには

プログラム／ランダムボタンを押すたびに、1曲目から曲順番号に続いて曲番号が表示されます。

登録した曲順を変更するには

1. プログラム／ランダムボタンを数回押し、変更したい曲順番号を表示させます。
2. スキップボタン（＋／－）で曲番号を変更します。
3. 再生／一時停止ボタンを押すと、1曲目から再生を開始します。

プログラムを消去するには

停止ボタンを2回続けて押すと、プログラムを消去できます。

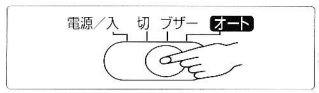
また、CD扉を開ける、モードを切換える、もしくは電源を切ったときも登録されていたプログラムが消去されます。

タイマー（目覚まし）機能を使う

本機では、ブザー音またはラジオ／CD／AUXの音源を指定して、タイマー（目覚まし）機能の設定ができます。

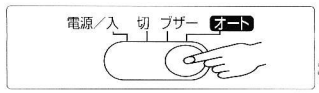
1 電源／タイマースイッチを「ブザー」または「オート」にする

ブザー音の場合（「ブザー」）

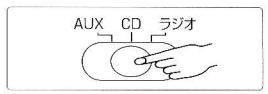


時刻表示とともにベルのマークが表示されます。

ラジオ／CD／AUXの音源を使う場合（「オート」）



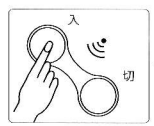
時刻表示とともに音符のマークが表示されます。



モード切換スイッチで音源を選びます。

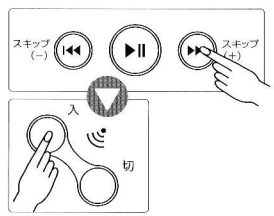
音量を設定します。音量の上げすぎにご注意ください。

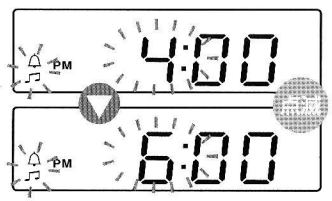
2 ブザー／タイマー（入）ボタンを長く押す



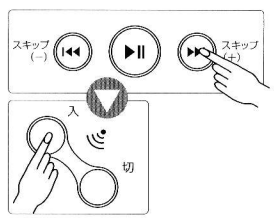
ベルまたは音符マークと時間表示が点滅します。

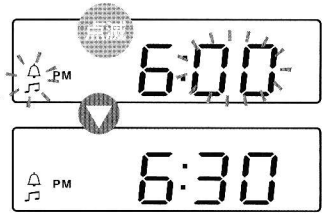
3 スキップボタン（＋／－）で時間を選び、ブザー／タイマー（入）ボタンを押す





4 スキップボタン（＋／－）で分を選び、ブザー／タイマーボタン（入）ボタンを押す（＝設定完了）





次ページに続く>>>

前ページの続き>>>

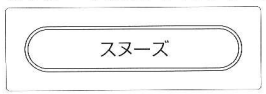
ヒント

ブザー音を設定している場合、設定時刻になると音が徐々に大きくなります。
ラジオ／CD／AUXの音源を指定している場合は、音量ツマミで設定した音量で再生されます。

●設定した時刻を確認するには
ブザー／タイマー(入)ボタンを押すと、約5秒間ディスプレイに表示されます。

●設定を解除するには
電源／タイマースイッチを「切」にします。

●スヌーズボタンについて



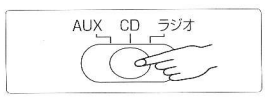
・タイマー（目覚まし）機能動作中にスヌーズボタンを押すと、ブザー音(または音源音)が一時的に停止し、9分後に再び鳴ります。設定時刻から 90 分間はスヌーズ機能が有効です。
・スヌーズ動作を完全に停止するには、ブザー／タイマー(切)ボタンを押すか、電源／タイマースイッチを「切」にしてください。

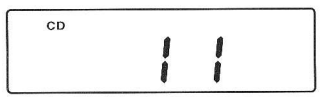
スリープ機能を使う

本機では、スリープ機能(お休みタイマー)を使うことができます。

1 電源／タイマースイッチを「電源／入」以外にする

2 モードを選ぶ





●ラジオの場合→放送局を選局してください。
●CDの場合→ディスクをセットしてください。
●AUXの場合→外部機器を接続してください。

3 スリープボタンを数回押して電源を切るまでの時間を設定する

15分／30分／60分／90分／OFF（設定解除）から選んでください。その後、CDの場合は再生／一時停止ボタンを押します。AUXの場合は外部機器側で再生操作をしてください。

ヒント

●経過時間を確認するには
スリープボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間をディスプレイに表示します。

●設定を解除するには
スリープボタンを数回押して、「OFF」を選択します。

外部機器を接続する（AUX）

外部機器を接続することにより、本機をスピーカーとして音楽や音声を楽しむことができます。

1 オーディオ接続ケーブル(別売)を使って、本機と外部機器を正しく接続する

2 本機と外部機器の電源を入れる

3 モード切換スイッチを「AUX」にする

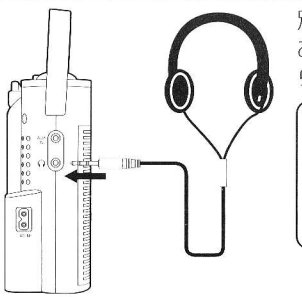
4 外部機器側で音を操作する

ご注意 本機側で音量や音質を調節すると、他のモード（ラジオなど）に変更した場合に急に大音量になる可能性があります。調節は必ず外部機器側で行ってください。

X-BASS 機能

X-BASS ボタンを押すと、重低音を強調した音声を楽しむことができます。音楽の録音状態等によっては、低音が割れる場合があります。その場合はX-BASS機能を解除してお楽しみください。

ヘッドホンで聴く



別売のヘッドホン（φ3.5mm ステレオミニプラグ）を、本機左側面にあるヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐとスピーカーからの音は聴こえなくなります。

ご注意

ヘッドホンをご使用の際は、本機の音量を下げた状態でヘッドホン端子に接続してください。また、使用時の音量の上げすぎにもご注意ください。聴力に悪い影響を及ぼす恐れがあります。

故障かなと思ったら

症　状	チェック項目
●全　般	
・電源が入らない	□電源プラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか。
	□乾電池が消耗していませんか（電池利用時）。
・音が出ない	□音量が最小になっていませんか。
	□ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。
●CD 部	
・CD の再生が始まらない	□CD が裏返しに入っていませんか。
	□CD がひどく汚れていませんか。
	□規格外のディスクが入っていませんか。
	□レンズが汚れていませんか。
	□CD 扉はしっかりと閉まっていますか。
	□モード切換スイッチは CD が選ばれていますか。
・CD の音が出ない	□一時停止状態になっていませんか。
・CD の音がとぶ	□結露状態になっていませんか。
	□レンズがひどく汚れていませんか。
	□強い振動を与えていませんか。
	□CD に大きな傷やひどい汚れがありませんか。
●ラジオ部	
・ラジオに雑音が入る	□近くで携帯電話を使用していませんか。
	□テレビや蛍光灯の近くで AM 放送を受信していませんか。
●その他	
・AUX からの音が出ない	□ケーブルはきちんと接続されていますか。
	□外部機器の電源は入っていますか。
	□外部機器側の電池が消耗していませんか。
・誤作動をする	□いったん電源プラグを抜き、再度コンセントに差し込んでみてください。
・時計が表示されない	□バックアップ乾電池が装着されていますか。
	□バックアップ乾電池が消耗していませんか。

主な仕様

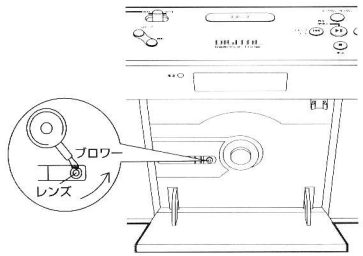
電　　源：AC100V（50 ／ 60Hz）　DC12V（単 2 形乾電池 ×8 本／別売）
　　時計用バックアップ電池
　　DC3V（リチウム電池：CR2025 x1 個 ／付属）
消費電力：14W
最大出力：1.2W×2　10%THD.
スピーカー：口径 77mm フルレンジ（インピーダンス 8Ω）×2
受信周波数：FM　76.0～90.0MHz　AM　530～1605kHz
アンテナ：FM　ロッドアンテナ　　AM　フェライトバーアンテナ
外形寸法：343mm（幅）×223mm（高）×68mm（奥行）（ハンドルをたてた状態で）
質　　量：約 1.6kg（乾電池含まず）
付 属 品：AC コード、時計用バックアップ電池 1 個（CR2025）、取扱説明書（保証書）
乾電池使用時の連続動作可能時間の目安（アルカリ乾電池新品使用、音量中程度にて）
　　：CD　約 20 時間　　ラジオ：約 38 時間
※仕様および外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

お手入れ方法

●本体のクリーニング
本体の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい時は、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。
シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

●CD プレーヤー・レンズ部のクリーニング
レンズの汚れは音とびなど、再生ができなくなる原因となります。CD 扉を開け、レンズについたほこりやゴミを市販のブロワーでクリーニングしてください。



保証とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理係にご相談ください。
●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理係にご相談ください。